

第8回協議会（勉強会）の概要について

1 日時

平成26年1月30日（木）15:45～17:00

2 出席者

- 花山院弘匡委員長
- 佐藤進委員長職務代理
- 松村佳子委員
- 森本哲次委員
- 藤井宣夫委員
- 富岡將人教育長

3 テーマ

「体罰のない学校づくりについて」

4 協議内容

- 事務局が、体罰のない学校づくりプロジェクトチーム・検討委員会を組織し、調査研究していることについて報告した。
体罰の根絶に向けた指導としては、まず、「体罰」についてよく理解し、正しい人権意識と深い児童生徒理解に基づいた基礎基本を踏まえ粘り強く指導を行うことが大切であること、その上で、指導力を向上させるために、「コーチング」「メンタルトレーニング」「ABC分析」「アンガーマネジメント」等の様々な理論を取り入れた指導法があることを説明した。
今後の取組としては、調査研究の成果物をリーフレット・冊子にまとめた上で、様々な研修会や実践発表会を実施する予定であることを説明した。
- 報告を受けて、委員から、「体罰は許されないことであり、取組自体はとても大切なことである。多くの先生方は、体罰を正しく理解し、生徒との確かな信頼関係を十分に構築していただいております。萎縮せず自信をもって指導していただきたい。」「教員に対するメンタルサポートも必要である。」等の意見が出た。
- また、委員から「これらの取組はできるだけ広めなければならない。公立学校だけでなく、私立学校も含めた奈良県全体の取組として実施すべきである。」との意見があり、事務局から、リーフレットは、私立学校にも配布する予定であるとの説明があった。
- 最後に、「体罰のない学校づくりで、最も大切なのは「愛」を基盤として子どもたちとの信頼関係を築いていくことである。経験年数の少ない若手教員数が増加しており、基礎基本を踏まえた指導とともに、様々な理論を知り、コミュニケーションスキルを向上させることが大切である。」ことを共通理解した。
- 次回は3月26日の予定で、教育委員会制度の改革について、議論を深めることにする。